

兵庫県警察の取組

平成23年3月11日午後2時46分、宮城県沖で発生したマグニチュード9.0の地震は、岩手県や宮城県、そして福島県をはじめとする東日本に津波や原発事故を伴う複合災害をもたらし、1万5千人以上の方が亡くなられ、未だ3千人以上の方が行方不明になられています。

兵庫県警察では、3月11日の地震発生当日に広域緊急援助隊を派遣したのをはじめ、平成24年4月11日までに延べ約4,200人以上の職員を被災地に派遣し、被災者の救出救助、行方不明者の捜索、検視・ご遺族への対応、信号滅灯交差点での交通整理、検問、避難所・仮設住宅への巡回、パトロール、事件発生時の初動捜査など、様々な活動に取り組んできました。



【行方不明者の捜索】



【遺族対応】



【交通整理】



【避難所への巡回】



【仮設住宅への巡回】



【パトロール】

また、兵庫県内においても、被災地から避難してきた方々への支援を行うとともに、震災に便乗した犯罪に対する防犯対策や取締りの推進、白バイ支援隊「ブルーマスターズ」の結成による交通対策の推進など、後方治安対策にも万全を期してきました。



【被災者支援をテーマにしたコンサート】



【ブルーマスターズの結成】



【防犯対策チラシ】

次頁からは、本震災の災害警備に従事した本県警察職員の手記を紹介します。

警察の災害警備活動に対して、ご理解をいただければ幸いです。